

# 家畜ふん堆肥の円滑流通支援

畜産技術センター企画指導部普及指導課

実施期間：令和6～7年

## 課題・目的

- 耕種経営体の減少や高齢化による労働力不足、堆肥舎等施設の老朽化の影響で堆肥の施用が減少しており、堆肥の滞留が課題となっている。
- 一方で、長年に渡り有機物を施用しないことで、土壌の地力低下が課題となっている。
- そこで、関係機関と連携し、耕種経営体と畜産経営体のマッチングを推進することにより、家畜ふん堆肥の円滑な流通と土壌地力の向上を図る。

## 活動内容

- 令和6年度は三浦半島地域を、令和7年度は藤沢市をモデル地域とし、農業技術センター、農協と連携して、家畜ふん堆肥の利用推進に取り組んだ。
- 地域ごとに堆肥の利用方法や堆肥販売情報を掲載したパンフレットを作成し、耕種経営体への情報提供を行った。
- 耕種経営体と畜産経営体のマッチングを図るため、農業機械展示会の会場に家畜ふん堆肥のブースを設けてPRを行った。
- マッチングの結果、堆肥を利用したい耕種経営体が見つかり、畜産経営体とつなげることができた。



## 今後の展開

- 家畜ふん堆肥の利用は地域により状況が異なるため、今後も地域の取組を支援する。
- 家畜ふん堆肥の品質は経営体による差が大きいことから、品質向上に向けた技術支援を行っていく。
- 今後も地域での取組を継続支援しながら、家畜ふん堆肥の円滑な流通を目指す。

／ 土づくりや化学肥料の削減に！／

# 堆肥で目指す環境負荷低減

## 藤沢地域の堆肥

堆肥は有機物を堆積して、好气的条件で分解させて生産し、成分的に安定化したものです。

家畜ふん堆肥は原材料の種類により、窒素成分を多く含む肥料としての役割があるものや、窒素成分はほとんどないが炭素成分を多く含む土づくり効果が高いものがあります。

近年、地球温暖化、生産者の減少等の課題に直面し、国内外でSDGsや環境を重視する動きが加速しており、持続可能な食料システムを構築するため、農林水産省では「みどりの食料システム戦略」が策定されました。神奈川県では「神奈川県環境負荷低減農業推進計画」を策定し、化学肥料の使用削減を取組の一つとしています。

### あなたの期待に応える堆肥とは？

#### 堆肥に期待する効果

肥料効果

物理性改善  
土づくり効果

化学肥料の代わりとして  
使いたい

減肥もしたい

はい

いいえ

はい

いいえ

鶏ふん  
堆肥

豚ふん  
堆肥

肉牛ふん  
堆肥

乳牛ふん  
堆肥

高 ..... 肥料効果 ..... 低